

2006年9月28日

美しく力強い。

新型 BMW M6 カブリオレ発売。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:千葉市美浜区中瀬 1-10-2、代表取締役:ヘスス・コルドバ)は、BMW 史上最もパワフルなV型10気筒エンジンを搭載したM6に、独自のフィン形状をした全自動ソフトトップを採用した、新型BMW M6 カブリオレの予約注文の受付を、9月30日(土)より開始すると発表しました。納車は11月以降順次行います。

メーカー希望小売価格は左・右ハンドル共に 16,500,000 円(消費税込み、その他税金、登録諸費用は含まず)です。なお、このモデルは全国のBMW正規ディーラーを通じて販売いたします。

新型BMW M6 カブリオレのポイント

- インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤーを2年連続で受賞したV型10気筒エンジン搭載。F1用に開発されたV10エンジンの技術転用を用い、最高出力507馬力、最高トルク520Nmを発揮。
- M5、M6 クーペ、M6 カブリオレ専用の第3世代のドライブロジック付き7速シーケンシャル・マニュアル・トランスミッション(SMG Drivelogic)を採用。
- 独特のフィン形状をしたフル・オートマチック・ソフトトップを採用。
- 軽量素材をフロント・サイド・パネル、トランク・リッドなどに用いて、徹底的な軽量化を実現。

新型BMW M6 カブリオレは、V型10気筒エンジンや、7速SMG Drivelogic トランスミッションなど、BMW M5、M6 クーペと同じパワートレイン、トランスミッションを搭載しながらもボディ構造は新たに専用設計を施しています。

ドイツBMW AGを親会社とするBMW M社は1972年の設立以来、F1をはじめとするレーシング・テクノロジーを開発、量産車にフィードバックし、スポーティかつ革新的な高性能車をこの世に送り続けています。新型BMW M6 カブリオレも同社で新型モデルとして開発されました。

新型 BMW M6 カブリオレ詳細

BMW のハイパフォーマンスでラグジュアリーなクーペ、BMW M6。そしてその M6 にオープン・エア・ドライビングを楽しむためのカブリオレが新たに追加されました。美しいサイドビューを持つクーペの造形を壊すことなく、エレガントにオープンエアを満喫するために開発したのが、後部ガラスから後ろにあたかも「フィン(背びれ)」のように伸びる処理が施された、フル・オートマチックのソフトトップです。

新型 BMW M6 カブリオレは、インテリジェント・ライト・ウェイト・テクノロジーに基づき、エンジン・フードおよびフロント・セクションにはアルミニウム合金、フロント・サイド・パネルにはサーモセット・プラスチック(熱可塑性樹脂)、リヤのトランク・リッドにはシート・モールディング・コンパウンド(SMC)、フロントおよびリヤのバンパー・サポートにはカーボン・ファイバー強化樹脂(CFRP)を採用しています。

F1 エンジンの開発で培った技術を数多く転用した M6 用 V 型 10 気筒エンジンは最高出力 507 馬力(373kW)/7,750rpm、最大トルク 520Nm(53.0kgm)/6,100rpm、レッドゾーン 8,000rpm 以上という量産車としては最高レベルの性能を実現しています。

独特のフィン形状をしたフル・オートマチック・ソフトトップを採用

新しいフィン付ルーフを採用した BMW M6 カブリオレは、M6 クーペと同様、ロング & ワイドなノーズと後方に位置したキャビンによる圧倒的な存在感とエレガントな線及び面構成により、その個性を際立たせています。このソフトトップのフィンは幅広な C ピラーを持つクーペと同様の視覚的効果をもたらし、高級感溢れるルックスを演出します。しかも、ひとたびルーフを開ければスポーティなクーペの運動特性と高級感あふれる 4 シーター カブリオレのスタイリングが巧みに融合された、比類ないキャラクターが姿を現します。

完璧な防音・断熱機能を備えたフル・オートマチック・ソフトトップ

ソフトトップは、新型 BMW M6 カブリオレの実用的な特性をさらに強調します。ラバー・コーティングされた外側と内張りとの間に設けられた PUR 樹脂製防音・断熱層は、効果的に外部からの騒音を遮断するだけでなく、風や悪天候をものともしない頑強な構造になっています。結果として M6 カブリオレの室内は非常に静かで快適、高速走行中でもリラックスして会話を楽しむことができます。ソフトトップ後端左右のフィンの間に、垂直に切り立ったリア・ウインドはガラス製で、熱線機能(デフロスター)が備わっています。このリア・ウインドーは、ソフトトップの開閉に関わらず、トランク・ルームとの仕切り部分に電動で開閉することができます。それだけでなく、このリア・ウインドーは、クーペのスライディング・ルーフと同様に、室内に風を巻き込むことなくベンチレーション機能を実現するとともに、完全に格納することでフルオープンにすることも可能です。

ソフトトップは全自動で開き、約 25 秒でルーフ収納部のカバーの下に収納されます。また、ソフトトップを閉じた際には、トランク内に設置されたレバーをひねるだけの操作でバリアブル・ソフトトップ・ボックス(可変式ルーフ収納部)を折りたたみ、トランク・ルーム内のスペースを拡大させることもできます。

標準装備のウインド・ディフレクターは、この新しい M6 カブリオレを、コックピットに巻き込む風をほとんど感じさせない 2 シーターに変身させます。さらに 4 名の乗員が座る場合には、いつでもディフレクターを収納バッグに入れてトランク・ルームに収納しておくことができます。

存在感を持ったエクステリア

新型 BMW M6 カブリオレの圧倒的な個性は、その外観からもうかがい知ることができます。左右のフロント・サイド・パネルに開いた大型エア・グリル、空力特性を考慮した M ドア・ミラーや立体的なデザインのサイド・シルは、この車の持つスポーティな実力を表現しています。リヤのクローム仕上げの 4 本マフラーとディフューザーは、新型 BMW M6 カブリオレのパフォーマンスの象徴といえます。

真のサラブレッドにふさわしいインテリア： BMW Individual

BMW Individual は BMW の 100% 出資小会社 BMW M 社が行う事業分野の一つで、通常用意される仕様や装備に飽き足らない方や希少性の高い自分だけの 1 台を求める方に、最高品質の素材を使用して、BMW Individual 選任デザイナーによる最も洗練された BMW らしいデザインを提供する、まさにワンオフの 1 台を製造する事業の名称です。

新型 BMW M6 カブリオレのシートには BMW Individual のフル・レザー・メリノが標準設定され、5 色から選ぶことができます。このメリノ・レザーは南ドイツの専用契約農場で飼育された牛を使用しています。コーティングやスタンプ加工を施さずに可能な限り自然の風合いを保つべく作られるこの最高級レザーは柔らかく触り心地が良く、新型 BMW M6 カブリオレにふさわしいラグジュアリーな雰囲気と、安定した着座を提供します。トリムには BMW Individual ピアノ・フィニッシュ・ブラックが装備されます。本物の木目に特殊加工のグロス・フィニッシュを施した深いブラックの艶やかな表面が新型 BMW M6 カブリオレが特別な車両であることを室内からも感じさせます。

BMW Individual コンポジション 1 は、全国の BMW 正規ディーラーにてオーダーが可能で、BMW Individual 専任のデザイナーが選りすぐった内外装の組合せが可能なパッケージです。標準仕様に加えて多岐にわたる選択肢を確保することで、お客様の多様な好みに合わせた「自分だけの特別な一台」を選び易くしました。

BMW Individual コンポジション 1 (消費税込み)

BMW M6 カブリオレ： 400,000 円

BMW M6 カブリオレ Individual コンポジション 1 の内容

- BMW Individual ボディ・カラー
- BMW Individual フル・レザー・メリノ (ダッシュ・ボード含む)
- BMW Individual フайн・ウッド・インテリア・トリム
- BMW Individual アンソラジット・ソフトトップ・ルーフライニング

参考資料：BMW M 社について

BMW M GmbH

BMW M GmbH(BMW M 社)は、BMW AG の全額出資子会社で、高性能車の開発、製造および販売を行っている。M という文字は、極めてスポーティで高級な車両の開発、物理の法則だけが最後の障壁になるようなドライビング・スキルや自動車産業界において個性的なスタイルを開発することを象徴しており、この目標を追求するため、BMW M GmbH は活動範囲を次の 3 部門に集中している。

- BMW M モデル及び M-Sport などの特別装備品の設計・開発
- BMW Individual
- BMW ドライバー トレーニング

モータースポーツを起源とする BMW M モデル

BMW M GmbH の起源は、1972 年に設立された BMW Motorsport GmbH である。BMW Motorsport GmbH が開発したツーリングカーは、その新しい赤・紫・青のストライプで、サーキットでは常に優勝候補して、1970 年代前半には広く認識されていたのである。そのような性能の車を日常走行において欲しがるユーザーの声は、すぐに大きいものになった。柔軟かつ情熱的なこの企業は、即座にこの要望に対応したのである。エンジニアは、BMW 5 シリーズから取り掛かり、スポーツカーの世界に大きな衝撃を与えたエンジン、サスペンションおよびブレーキ・システムが装備された初代高性能セダンを製造し始めたのである。この哲学は、今日まで一貫して変わらず継承されている。

独自のマーケット セグメントを創出する M モデル

1970 年代後半から 1980 年代にかけて、M という文字は、M1、M535i、M5、M635CSi によって、非常に速く、非常に安全で、非常にエレガントな車という同義語になった。これらのモデルには、4 バルブ システムが採用された直列 6 気筒エンジンが搭載された。そして、これらの各モデルは、世界の自動車産業界において一気に栄光への階段を上っていった。

1986 年、上記の初代 4 モデルに 4 気筒エンジン搭載モデルが加わった。これが、BMW Motorsport GmbH を成功への道に導いた、初代 BMW M3 であった。当初の計画では、レースへの参戦を目的としたこの 2 ドア・スポーツカーを 5,000 台生産する予定であったが、最終販売台数は 18,000 台にも及んだ。BMW M3 は生産中止になるまでの期間、クーペ、セダンおよびカブリオレの 3 種類もの異なるモデルが投入された 2 代目 M3 によって、実際にその市場はブームとなった。そして、3 代目 M3、このサクセス・ストーリーを継承するために必要な全ての機能を満載したクーペがスタート地点に立った。

独立系メーカーとしての BMW M

時が経つに連れて、この特殊な BMW の全額出資会社は販売額だけではなく、責任と従業員数も一貫して増加してきた。このプロセスにおいて業務範囲は完全に変化したのである。新しい社名が

求められたのはこのためである。なぜなら、BMW Individual が提供する広範な製品によって、自分の車をカスタマイズしたいと希望するユーザーや、BMW ドライバー レーニングに参加したいと考えているユーザーは、"Motorsport GmbH"（モータースポーツ会社）という用語がユーザーの希望を正しく表現しているとは考えなかったからである。“世界最強の文字”として BMW が社内で定義した伝説の文字“M”を由来とし、1993 年 8 月 1 日より BMW M GmbH と改め、認知されるようになったのである。現在 BMW M GmbH では、約 500 名の専門家が働いており、そのうちの半分は M モデルの開発に従事している。技術開発だけではなく、テストも自社でおこなわれている。これは、BMW M GmbH が中規模カーメーカーに匹敵するほどの活動範囲を追求していることを意味するのである。

自動車産業界のあらゆる（ほとんどの）願いを実現する BMW M

1991 年、BMW Individual は、初めての新しい活動として会社にとって重要なクラシックモデルを業務範囲に取り入れた。BMW の「レギュラー」モデルの範囲から端を発したこの特別部門は、通常のオプション装備や特別装備品の範囲をはるかに超えたカスタマイズの手法を提供することによって、個々のユーザーの希望や要望を満たす新しい部門である。特に、特別な塗装やインテリア装備、独自の改造や本格的な通信エレクトロニクス装置などに対する要望が非常に多いこの種のビジネスに参入し、想像できる限りユーザーが希望する製品を提供することによって、BMW は個人のスタイルや性格を重視する最近のトレンドに対応することに成功したのである。

M のデザイン

BMW Group は 3 つのブランドが全てプレミアムという世界で唯一の自動車メーカーだが、デザイン部門は 5 つある。BMW、MINI、ロールス・ロイス、Motorrad（2 輪）、そして M である。M3、M5、M6 などの高性能モデルのデザインを手がけるのはもちろん、インテリアのデザイン、および素材を研究、開発している。そして BMW Individual で使用する素材、色、形、匂いまでも研究・開発を行っている。また、素材の耐久性試験では、零下 50 度から摂氏 50 度までの温度試験や、日差しなどによる変色、退行性などの試験を実施したり、不燃性材料であることだけでなく安全性を考えて、耐久性の素材実験も実施する。さらに事故修復などのための補修部品の供給が速やかに行われる体制を整えている。これは M がチューナーではなく、メーカーである明らかな証である。

より安全に運転するためのドライバー・トレーニングを行って 32 年

BMW ドライバー・トレーニングは、BMW Motorsport GmbH 発足後間もない、1973 年からの活動の一つである。それ以来、世界のモータースポーツ界において著名な、多くの専門家を含むインストラクターは、非常に特殊な「ドライビング・スクール」で 32 年間ものあいだ、自分たちの専門知識を熱心なドライバーたちに伝えてきたのである。これは、車の運転に関する全ての物理学上の知識を、明確かつ分かりやすく、そして五感に訴えるコミュニケーション方法によって運転に興味をもったドライバーたちに伝える学校である。BMW ドライバー・トレーニング内の運転に習熟した専門家たちは、年間約 20,000 名の参加者に車の取り扱い方、特に、安全運転に関する講習を行い、熱心な

グループには特別プログラムに焦点を当てながらトレーニングを行っている。

ビー・エム・ダブリュー株式会社について(2006年9月1日現在)

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、ドイツ・バイエルン州ミュンヘン市に本社を置く、プレミアム・ブランドに特化した、グローバルな自動車メーカーである BMW AG(Bayerische Motoren Werke Aktiengesellschaft)の 100%出資子会社で、欧州自動車メーカー初の全額出資子会社として、1981 年に日本に設立されました。以来ビー・エム・ダブリュー株式会社は、当時は珍しかった専売店網の構築に始まり、低金利ローンや認定中古車制度など、さまざまな業界標準を築き、製品、サービス、顧客満足の分野において常に輸入車業界をリードしてきました。ビー・エム・ダブリュー株式会社は全国の 279(BMW: 187、MINI: 92)の正規ディーラー・ショールームを通じて BMW と MINI 製品の販売とアフターセールスを提供しています。また、BMW Motorrad(オートバイ)の製品・サービスは、自動車同様、専売店ネットワークを通して提供しています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、2005 年には同社史上最高となる 58,582 台(BMW: 44,980 台、MINI: 13,602 台)の新車を販売しました。また、BMW Motorrad は、2,681 台を全国のお客様にお届けしています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は現在 285 人の従業員を雇用しており、関連子会社に金融サービスを提供するビー・エム・ダブリュー・ジャパン・ファイナンス株式会社と、直営販社であるビー・エム・ダブリュー東京株式会社を有しています。